

2026 年 10 月 29 日
フューチャーアーティザン株式会社

フューチャーアーティザン、経営と現場の認識ギャップを解消する ESG 対話型ワークショップ「みらい共創アトリエ」を提供開始

～SSBJ 基準の適用を見据え、限られた資源で取り組むべき優先課題の策定から実行までを伴走～

フューチャーアーティザン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 内藤孝雄）は、製造業などの企業が直面する ESG・サステナビリティ課題に対し、経営と現場の認識を一致させ、限られた経営資源の中で自社が優先すべき課題を共に導き出す対話型ワークショップ「みらい共創アトリエ」の提供を開始いたしました。地政学リスクの高まりや、2027 年 3 月期からの SSBJ 基準（サステナビリティ開示基準）適用開始を見据え、限られた経営資源の中で自社の強みを再確認し、変化に追従できる実行体制作りを支援します。

■ サービス提供の背景

近年、サステナビリティは単なる「環境対応」から、「事業を存続させられるか」という経営判断そのものへと変化しています。特に製造業においては、地政学リスクによるサプライチェーンの分断、原材料調達の困難、エネルギーコストの高騰など、深刻な経営危機に直面しています。

さらに、2027 年 3 月期からはプライム上場の大企業を皮切りに、SSBJ 基準に基づく開示が段階的に義務化が見込まれています。

これにより、大企業のみならずサプライチェーン全体に対しても情報開示や変革の並みが及ぶことが想定され、企業には「自社の強みは何か」という問いへの明確な答えと、環境変化に対応できる柔軟な組織体制がこれまで以上に求められています。

しかし、多くの企業では「経営と現場の認識ギャップ」「部門間の共通言語の欠如」「一貫した判断軸の欠如」といった理由から、危機が見えていても全社的な優先順位が定まらず、場当たりの個別対応に迫られているのが現状です。

■ 「みらい共創アトリエ」とは

「みらい共創アトリエ」は、経営企画・変革推進・サステナビリティ・調達・生産管理などの部門横断メンバーが一堂に会し、自社の経営課題を言語化・優先順位付けする対話型ワークショップです。専門家や資金をかければ解決できる「技術的問題」ではなく、立場を越えた対話と協働でしか前に進まない「適応課題（組織として何にどう適応するか）」に焦点を当てます。

本ワークショップでは、独自の対話フレームワークと生成 AI を掛け合わせ、多岐にわたる部門横断の議論をリアルタイムに構造化。「みらい共創優先課題マップ」としてその場で可視化します。企業のミッション・ビジョン・バリューと現場課題を結びつけることで、ESG を経営の本質として捉え直すきっかけを提供します。さらに、ワークショップで特定された優先課題の運用・実行フェーズまでをワンパッケージで伴走支援します。単なる課題の言語化で終わらせず、組織が実際に動き出すところまでを一貫して支える点が本サービスの特長です。

<サービス概要>

- ・提供形態：対面形式（貴社へ訪問して実施 ※開催場所は応相談）
- ・所要時間：約 2 時間 30 分（事前診断+当日の講演・対話ワーク+翌営業日のレポート提出）
- ・推奨参加人数：8 名以上（実効性のある全社議論を行うため決裁者 1 名以上を含む 8 名以上での参加推奨）

- ・参加費用：無料（※ワークショップ後の実行伴走支援については別途ご相談）
- ・対象企業・部門：製造業をはじめとする ESG・GX 推進に取り組む企業
経営企画、変革推進、サステナビリティ、調達、生産管理などの責任者・ご担当者
- ・開催日程：お申し込み後、個別調整のうえ決定（随時受付）

■フューチャーアーティザンならではの強み

当社は、「日本の製造業との共創により、サステナブルな社会を実現する。」というパーパスのもと、これまで企業の実際の経営課題を題材に、生徒が自ら考え行動するまで伴走する「企業伴走型サステナビリティ探究授業」を展開してきました。複数の学校での実践において、使い捨てプラスチックの削減やバイオマスプラスチック利用促進の提案など、確かな成果を上げています。

この取り組みは次世代の育成にとどまらず、自社の経営課題を多様な視点から捉え直す機会となり、社員のエンゲージメント向上や新たな気づきを得るという「共創価値」を企業側にもたらしています。

「みらい共創アトリエ」は、この現場で培われた、「中立的な第三者としてのファシリテーション力」と、「正解のない適応課題に対し、対話と協働を通じて本音の優先順位を引き出す実践知見」を基盤として開発されました。

■「みらい共創アトリエ」が提供する3つの価値

1. 部門や立場を超えた優先課題を導く

独自の手法により、部門横断メンバーが、自社の目指す姿と強みに照らして議論し、限られた人・予算・時間の中で何を優先するかを明確にします。議論の成果はその場で「優先課題マップ」として可視化します。

2. 製造業の実績・ノウハウを掛け合わせた具体策の提示

当社は、「SFL コンソーシアム」の事務局として、サステナビリティと経営をめぐる各社の現場の声を継続的に吸い上げてきました。導き出した優先課題に対し、現場の意見と、数多くの製造業とともに取り組んできた実績とノウハウを掛け合わせることで、実効性の高い、具体的な打ち手までをご提案します。

3. 実行に向けた課題解決を、伴走支援する

ワークショップ当日までの事前のインプットから、当日の外部有識者による経済・地政学トレンドの講演、そして事後のフォローアップまでを一貫して設計しています。部門ごとにデータの持ち方や目的が異なるという実行時のハードルを踏まえ、共通の目標を持って実行・定着できるよう、フォローアップ面談等で伴走支援します。

■推薦コメント 玉木アンドアソシエイツ代表 玉木伸之氏

経営と次世代に伴走する中で、異なる部門が同じテーブルで建設的に対立したとき、ひとりでは見えなかった選択肢が見えてくる場面に立ち会ってきました。備えるべきリスクだけでなく、自社の強みを活かせる機会も、そこから見えてきます。みらい共創アトリエが、そのきっかけになることを期待しています。

<https://tamaki-associates.jp/>

■ 関連ページ

【みらい共創アトリエについて】

<https://www.future-artisan.co.jp/service/solution/esg-co-creation/workshop2026>

【ワークショップ申し込みについて】

<https://www.future-artisan.co.jp/event/ESG-WS-2026#FORM>

【ESG 経営共創サービス】

<https://www.future-artisan.co.jp/service/solution/esg-co-creation>

■フューチャーアーティザン株式会社について

フューチャーアーティザン株式会社は、1972年に創立したコンサルティング&システムインテグレータです。製造業のDX推進、ESG経営の実現、そして持続可能な社会の構築に向けてお客様へ最適なITをデザインし、課題解決と付加価値を高めるコンサルティングおよびシステム・サービスを提供しております。

※2017年にフューチャー株式会社のグループ企業になりました。

※2025年に株式会社ワイ・ディ・シーから社名を変更しました。

会社名 : フューチャーアーティザン株式会社

所在地 : 〒141-0032 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー

創業/設立 : 1972年3月/2000年1月

資本金 : 2億5000万円

事業概要 : ・情報通信システムに関するコンサルティングおよび設計、開発
・機器およびソフトウェアのライセンス販売、インストール、保守、運用サポート
・インターネットを用いた通信と情報サービスの提供、運営

URL : <https://www.future-artisan.co.jp/>

■プレスリリースに関するお問い合わせ先

フューチャーアーティザン株式会社 マーケティング部

E-mail : info@future-artisan.co.jp

※本記事に掲載している当社の商品・サービス名称等は当社の商標または登録商標です。その他の会社名・商品名・サービス名などは各社の商号・商標または登録商標です。